

宮城県における国・公立教員養成学校の沿革・附属小学校名の変遷

年 月	教員養成学校	附属小学校
明治 6年8月 11月	宮立宮城師範学校 が旧藩学養賢堂敷地内に創設 同校開校, 初代校長大槻文彦	◇宮立宮城師範学校附属小学校
明治 7年5月	同校及び附属小学校校舎落成(勾当台通)	
明治 8年3月	小学校教員伝習学校 設立(現県警本部北東角) ・下等小学科——修業年限100日 ・初代校長木村敏(東二番丁小学校校長兼務)	
明治 9年3月	小学校教員伝習学校が 公立仙台師範学校 と改称 ・上等小学科を設置——修業年限2か年	
明治10年8月	公立仙台師範学校に女子師範科を設置 ・修業年限100日—明治17年廃止	
明治11年2月	官立宮城師範学校廃止	
明治11年3月	官立師範学校の土地, 施設に仙台師範学校が移転	◇公立仙台師範学校附属小学校(未確認)
明治12年6月	公立仙台師範学校が 県立宮城師範学校 と改称 ・小学師範科	◇県立宮城師範学校附属小学校
明治15年7月	宮城師範学校に3科を設ける ・初等師範科修業年限1か年, 中等師範科2年6 か月, 高等師範科4か年	
明治19年4月	宮城師範学校が 宮城県尋常師範学校 と改称 ・尋常師範科, 修業年限4か年	◇宮城県尋常師範学校附属小学校
明治22年9月	宮城県尋常師範学校に女子部を併置	
明治24年3月	宮城県尋常師範学校の校舎を北一番丁(外記丁と 同心町間=現NHK界隈の約1万坪)に新築移転, 附属小学校校舎, 寄宿舎も新築移転	
明治31年4月	宮城県尋常師範学校が 宮城県師範学校 と改称 ・師範科(簡易科設置したが明治36年に廃止)	◇宮城県師範学校附属小学校
明治42年4月	・師範科を本科第一部とし, 新たに本科第二部を 設け 中学校, 高等女学校の卒業生を就学させる	
大正 2年4月	女子部を分離し 宮城県女子師範学校 を中島丁に開校 ・初代校長小川正行 ・附属小学校施設として仙台市から八幡尋常小学 校校地約3千坪と校舎(十二軒丁)が寄付され これを附属校に充てた	◇宮城県女子師範学校附属小学校
大正12年7月	・宮城県師範学校の新校舎を北七番丁に建設し 北一番丁から8月に移転, 寄宿舎は翌13年 10月, 附属小学校は翌々14年4月に移転 (総面積は約2万坪)	
大正14年4月	・男女本科第一部の修業年限が5か年になる	
大正15年4月	・男女両師範学校に専攻科(修業年限1か年を設置)	

昭和 4年9月	女子師範学校附属小学校が本校東隣に竣工し、十二軒丁旧校舎から移転	
昭和 5年4月	宮城県実業補習学校教員養成所を、宮城農学校から宮城県師範学校に移管	
昭和 10年4月	宮城県実業補習学校教員養成所の名称を宮城県青年学校教員養成所と改称	
昭和 10年5月	宮城県女子師範学校に附属幼稚園を付設	
昭和 16年4月		◇宮城県師範学校附属国民学校 ◇宮城県女子師範学校附属国民学校
昭和 18年4月	宮城県師範学校が 宮城師範学校 と改称 ・官立専門学校に昇格，男女両師範学校統合， 修業年限3か年	◇宮城師範学校男子部附属国民学校 ◇宮城師範学校女子部附属国民学校
昭和 19年4月	宮城県青年学校教員養成所が専門学校に昇格し， 宮城青年師範学校 となる	
昭和 22年4月	六三制	◇宮城師範学校男子部附属小学校 ◇宮城師範学校女子部附属小学校
昭和 24年4月	宮城師範学校が 東北大学宮城師範学校 ，宮城青年師範学校が 東北大学宮城青年師範学校 となる	◇東北大学宮城師範学校男子部附属小学校 ◇東北大学宮城師範学校女子部附属小学校
昭和 26年3月	宮城師範学校・宮城青年師範学校が最後の卒業生を世に送り，教員養成の任務は 東北大学教育学部 及び同教育教養部に引き継ぐ	
昭和 26年4月		◇東北大学教育学部附属小学校 (各小学校を，北七番丁校舎，中島丁校舎と通称)
昭和 34年4月	附属小学校北七番丁校舎と中島丁校舎とが北七番丁に統合	
昭和 40年4月	東北大学から教員養成課程を分離し 宮城教育大学 開校	
昭和 42年4月	附属小学校が宮城教育大学に移管される	◇宮城教育大学教育学部附属小学校
平成 16年4月	国立大学法人宮城教育大学となる	◇宮城教育大学附属小学校

- <参考資料>
- ・昭和61年版「宮城師範学校同窓会名簿—宮城師範学校の沿革」
 - ・平成4年12月宮城教育大学附属小学校刊行「私たちの学校の歩み」史料編
 - ・平成7年刊行「附属小創立120周年記念誌」
 - ・宮城県教育百年史 ほか

(作成 平成17年1月 文責・小堀恒男)

— 訂正 平成22年4月 —